

**HER2 陽性 胃がんにおける
3rd line 治療としての
Trastuzumab Deruxtecan 療法について**

スケジュール

トラスツズマブ デルクステカン(エンハーツ®: T-DXd) 6.4mg/kg d.i.v. day1
21 日毎

支持療法として

Day1:注射:パロノセトロン、デキサメタゾン

Day2-3:内服:デキサメタゾン

トラスツズマブ デルクステカン(エンハーツ®)について

抗 HER2 ヒト化モノクローナル抗体と

トポイソメラーゼ I 阻害剤のカンプトテシン誘導体(MAAA-1181a)を結合させた薬剤

薬価:100mg:約 16 万 5 千円

類似:トラスツズマブ エムタンシン(カドサイラ®:T-DM1):抗 HER2 抗体+チュブリン重合阻害薬
ペルツズマブ(パージェタ®): HER2/HER3 のダイマー形成阻害

ガイドライン上の扱い

HER2 陽性 切除不能 進行 再発 胃がんでの

三次化学療法として推奨されるレジメン

(ex.Her+cape+CDDP→PTX+RAM→T-DXd)

治療効果

HER2 陽性 胃がん 胃食接合部がん患者での

3rd line 以降における

T-DXd と 医師選択治療(イリノテカン or パクリタキセル)を比較した試験

(J202 試験,DESTINY-Gastric01)

N=187

T-DXd vs (イリノテカン or パクリタキセル)

OS(全生存期間)中央値 12.5 ヶ月 vs 8.4 ヶ月

PFS(無増悪生存期間)中央値 5.6 ヶ月 vs 3.5 ヶ月

相対用量強度%中央値 92.5 vs 83.7

副作用%(Grade3 以上)

T-DXd vs (イリノテカン or パクリタキセル)

トラスツズマブ デルクステカン 間質性肺炎 日本人では 11.1%

投与中止に至った有害事象 15.2% vs 6.5%

死亡に至った有害事象 6.4% vs 3.2%

惡心 63% vs 47%(5% vs 2%) 食欲不振 60% vs 45%(17% vs 13%)
好中球減少 63% vs 35%(41% vs 24%) 貧血 58% vs 31%(38% vs 23%)
血小板減少 39% vs 6%(12% vs 4%)
下痢 32% vs 32%(2% vs 2%) 便秘 24% vs 23%(0% vs 0%)
發熱 24% vs 16%(0% vs 0%) 脫毛 22% vs 15%(0% vs 0%)

備考